

パソコン教室の窓から(80)

NPO 法人コミュニティ NET ひたち(Cnet)久保裕

## パソコン AI (人工知能) アプリの実用化

パソコンの Windows には、Copilot という文章や画像を生成する AI アプリが搭載されている。パソコンやスマホはネットでデータ検索や調べごとをするだけでなく、質問に答えてくれ、依頼事項を指示するとそれに対応した文章、図表を作成してくれる。また、画像、音声や動画を生成してしてくれる AI も普及している。今年は、パソコンやスマホの AI アプリの実用化元年といえるだろう。

今年の年始めから、AI に関するニュースが世界中に発信されている。

AI インフラの整備にソフトバンク社と米オープン AI 社は、米国に約 78 兆円を投資する計画「スターゲート」を発表した。日本では、全国に AI 開発のデータセンターを建設して、そこで消費される膨大な電力需要をまかなう発電設備も併設する構想だ。またスマホに代わる生成 AI 専用の端末の開発にも乗り出すと表明している。中国が安価に AI が利用できるとして DeepSeek(ディープシーク)を開発したと発表している。AI 技術の進歩のニュースには目を離せない。

AI(人工知能)が、それ自体で知識を獲得して、データや画像・音声・動画を生成して、人と会話したりする AI ロボットが、10 年以内に出現すると予測されている。

行く川の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。

淀みに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまることなし。

世の中にある人と栖(すみか)と、又かくのごとし。『方丈記』鴨長明

ディープラーニングの技術は、こんな“行く川の流れ”を自動生成していくであろう。水面に落としたインクの色広がりを再現する数理解析が可能になっている。

